LIXIL

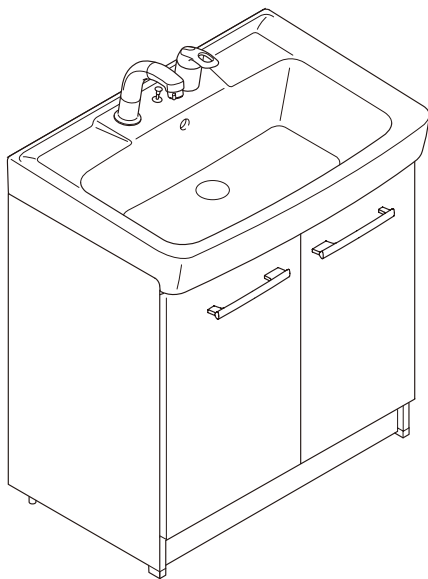
INAX

保証書付

洗面化粧台

オフト

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書と水栓金具･機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

取付業者さまへ
取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください

品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

洗面化粧台　開き扉を開けたキャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
※「各部のなまえ」にて貼付位置をご確認ください。

その他のキャビネット　キャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。

例)洗面化粧台　品番表示ラベル

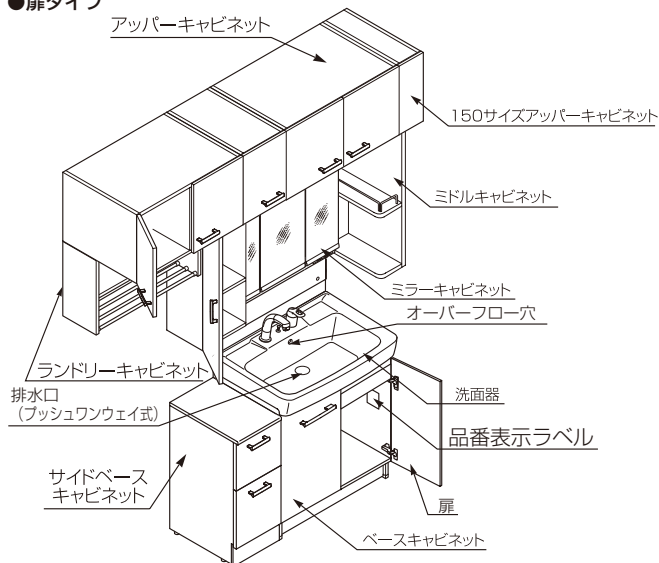
品番
FTVN-755SY1/VP1W

製造番号（MB）
A0101-15A010001

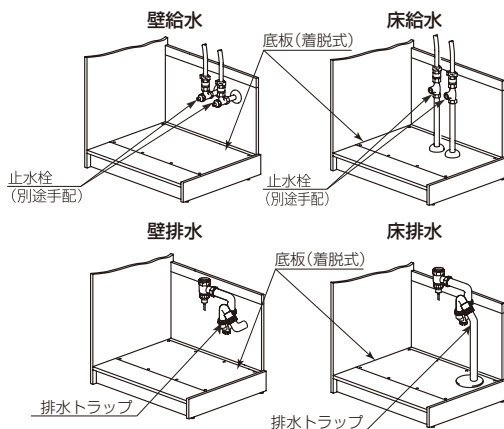
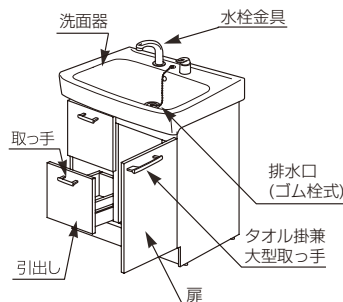
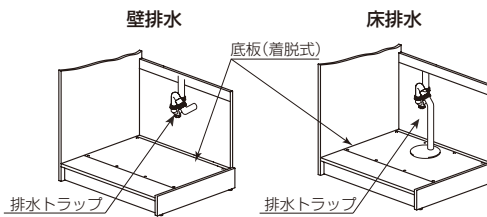
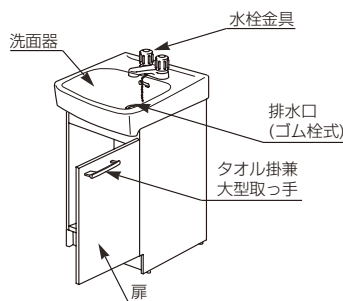
修理のご依頼は、
お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター
0120-179-411
http://www.lixil.co.jp/support
株式会社 LIXIL

各部のなまえ

・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
・図は商品の代表機種の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。
・周辺キャビネットの品番は「仕様」（20ページ）をご覧ください。

●扉タイプ

●引出しタイプ

●間口500mmタイプ

配管部分の名称

（間口750mmプッシュワンウェイ式の場合）

（ゴム栓式の場合）

安全上のご注意（必ずお守りください）

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご確認のうえ、ご使用ください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告 ……… 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷などを負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 注意 ……… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ ………… 「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

………… 「分解してはいけません！」

………… 「指示した場所に触れてはいけません。」

………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

……… 「電源プラグをコンセントから抜いてください！」

⚠ 警告

（禁止）

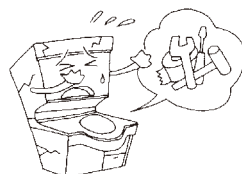
電気部品

●スイッチやコンセント、電源プラグなどの電気部品に水をかけない。また、ぬれた手で触らない。

※漏電や感電の恐れがあります。

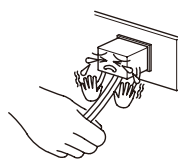
（分解禁止）

●改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。

（禁止）

電源プラグ

●電源プラグを抜くときはコード部分を持って引っ張らない。必ず先端のプラグ部分を持って引き抜いてください。

※感電やショート･発火による火災の恐れがあります。

⚠ 注意

（必ず実行）

コンセント

●電源は必ず適性配線された専用の100Vコンセントから取ってください。

※感電やショート･発火による火災の恐れがあります。

（禁止）

電源コード

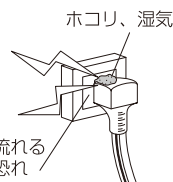
●電源コードは束ねたまま使用しない。必ず延ばした状態で使用してください。

※発熱や発火による火災の恐れがあります。

（必ず実行）

電源プラグ

●電気機器の電源プラグは定期的にコンセントから抜き、 乾いた布でホコリや湿気を拭き取ってください。

※ホコリや湿気がたまると､トラッキングによる火災の恐れがあります。

（必ず実行）

使用の中止

●商品がガタついたり、破損や故障したりした場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

※使用を続けると､より大きな損害を引き起こしたり､ケガをしたりする恐れがあります。
（18ページ をご覧のうえ修理・点検を依頼してください。）

※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中止の際に必ずスイッチを切り､電源プラグを抜いてください。

（必ず実行）

洗面器・キャビネット

●扉が傾いたり､ガタついたりする場合は、 扉調節や付けなおしを行ってください。

※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。（扉の調節・取付けは12～14ページをご覧ください。）

⚠ 注意

薬品・溶剤

（禁止）

●**洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。**
※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

●**塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。**
※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

●**排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。**
※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。

●**除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染め剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などが付着したまま放置しない。すぐに拭き取ってください。**
※化粧品や洗剤の中には樹脂（プラスチック）に悪影響を与えるものもあります。
※放置するとヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

（必ず実行）

●**キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。**
※腐食性ガスが発生すると、蝶番のサビや、扉・引出しの開閉動作不良の原因になります。塩素系・酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

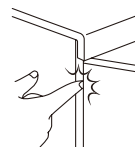
キャビネット

（禁止）

●**洗面器や引出しに乗ったり、開いた扉、取っ手などにぶら下がったりしない。**
※無理な力をかけると部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

●**大型取っ手にぶら下がったり、掛かったタオルを強く引っ張ったりしない。**
※破損やケガの恐れがあります。

●**扉を大きく開けすぎない。**
※扉が外れてケガをする恐れがあります。

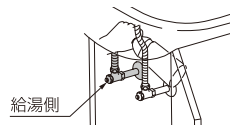
●**開閉動作時にキャビネットのレールやキャビネット扉の隙間・蝶番の可動部に触らない。**
※開閉動作時に指を挟んだり、金具でケガをする恐れがあります。
小さなお子さまの使用時は特に注意してください。

●**引出しの樹脂レールに潤滑油・グリスを塗布しない。**
※潤滑油・グリスが引出し・樹脂レールに付着すると劣化やヒビ割れが生じて、引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。

洗面器

（禁止）

●**洗面器に熱湯を注がない。**
※急激な温度変化により洗面器が割れて、漏水や家具などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

●**洗面器に重いものや固いものを落とさない。**
※洗面器が割れて、漏水や家具などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※割れた場合は応急処置として破損箇所に布粘着テープを貼って使用を中止し、修理を依頼してください。

●**お湯の使用中、使用直後は水栓金具の左側（湯側）や洗面器下の給湯側配管に触らない。**
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意

（必ず実行）

水栓金具

凍結が予想される場合は、必ず水抜きを実施してください。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

●断水時は水栓金具のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。

※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

（禁止）

●水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

※水栓金具が破損･脱落し、漏水やケガの恐れがあります。

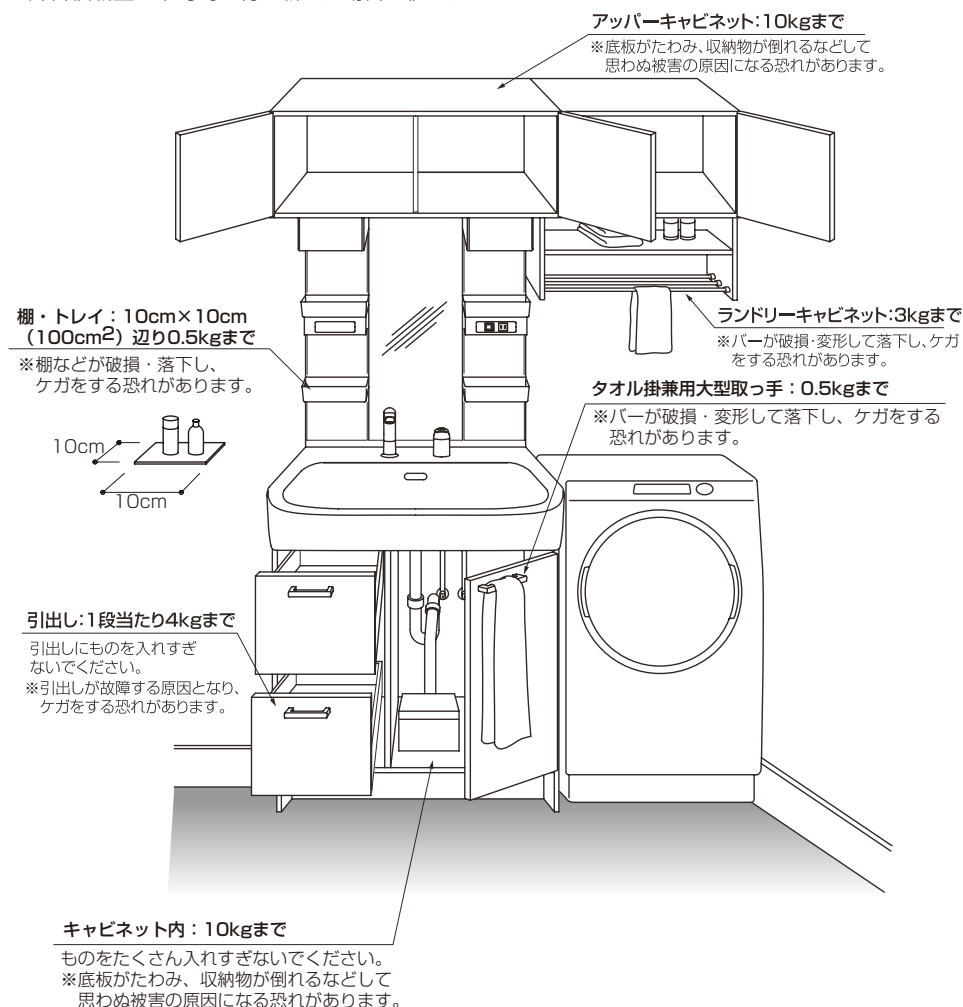
●水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。

※ホースが出し入れしにくくなったり、水受けの位置からずれたりして、キャビネット内をぬらす恐れがあります。

※ホースが出すぎると水が洗面器からこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

（必ず実行）

●許容積載量を守って使用してください。

※許容積載量は平均的に物を載せた場合の値です。

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

お願い

洗面器・キャビネット

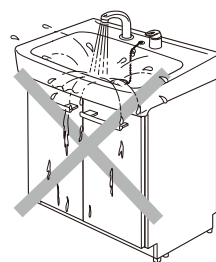
●**ヒーターなどの熱源やタバコ・マッチなどの火気を近づけないでください。**
※変形やコゲ跡がつく原因となります。

●**直射日光やスポット照明、殺菌灯などを当てないでください。**
※変色や変形の恐れがあります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。

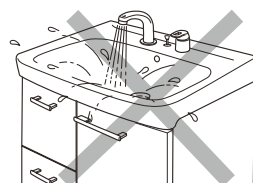
●**金属類を放置しないでください。**
※サビが付着して取れなくなる場合があります。

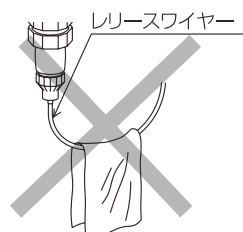
●**キャビネットに水などをこぼさない。ぬれたらすぐに拭き取ってください。**
※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部も拭き取ってください。
※木質でできていますので、水を含んでふくらんだり、表面材がはがれたりする原因となります。

●**キャビネットの中にものをたくさん入れすぎないでください。**
※収納物が配管に当たり、漏水する恐れがあります。
※引出しから収納物が後ろに落下し、配管に当たって、漏水する恐れがあります。

●**市販の吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置きなどを使用しないでください。**
※洗面器やキャビネットに吸盤を貼ると、貼った周辺が変色する場合があります。

水栓金具

●**水ためは「整流」で行ってください。**
※シャワーで行うと、水面が波立ち、水があふれる場合があります。
※シングルレバー混合水栓･2ハンドル混合水栓･立水栓の場合は流量をしぼってください。水面が波立ち水があふれる場合があります。

●**水はねが多い場合は吐水量を調節してください。**
※調節方法は 11ページ をご覧ください。

排水器具

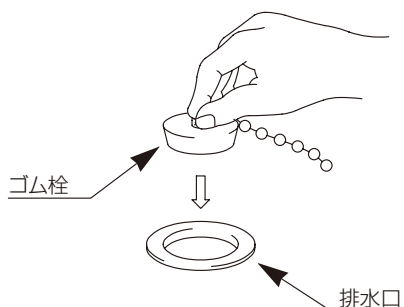
●**排水器具のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしないでください。**
また、収納物が接触しないよう気をつけてください。
※レリースワイヤーが切断･破損して、排水栓を開閉できなくなる場合があります。

ご使用方法

湯･水を使う

水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

排水栓を開閉する

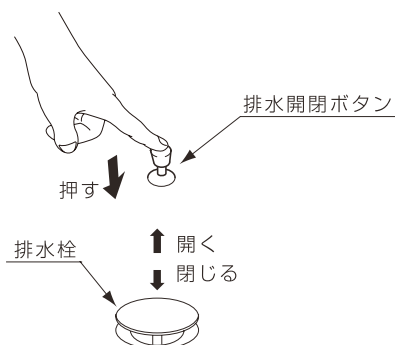
■ゴム栓式の場合

洗面器に水をためる場合は、ゴム栓を排水口に押し込んでください。

お願い

ゴム栓についているリング部分を持って開閉してください。

※鎖を持って引っぱると、鎖が切れる恐れがあります。

■プッシュワンウェイ式の場合

開閉ボタンを押すごとに、排水栓が開閉します。

棚板を取り付ける

注意

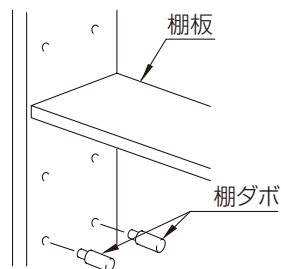
棚ダボは奥まで確実に差し込み、棚がガタツキなどなくしっかりはまっていることを確認のうえ使用してください。

※差し込みや取付けが不十分だと、棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。

①棚ダボを差し込む

キャビネット内の収納部側面の取付穴に棚ダボ4個をしっかり差し込みます。
棚板高さは棚ダボの差込み位置により決まります。

②棚板を載せる

棚板裏の4つのくぼみ部が、4つの棚ダボに合うように棚板を載せます。

オプション機能

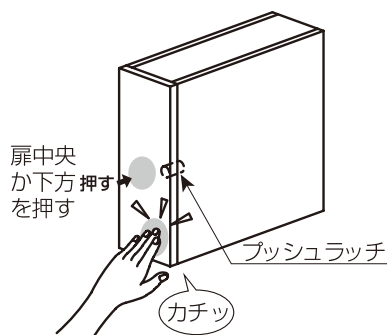
ミラーキャビネット・電気温水器・即湯システムについては各取扱説明書をご確認ください。

扉を開閉する（150サイズアッパーキャビネット）

扉を開ける

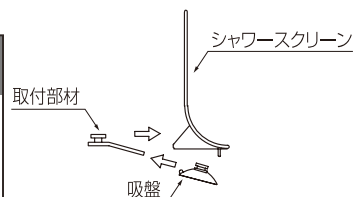
プッシュラッチ付近を指で押すとロックが解除され、扉が開きます。

扉を閉める

プッシュラッチが「カチッ」と音がするまで扉を押し込みます。

シャワースクリーン（BB-FTV2N）の取付け・取外し

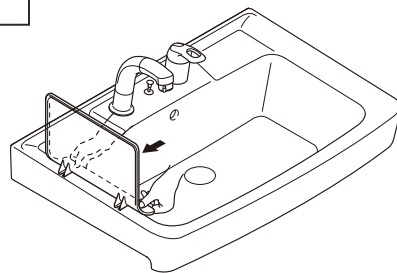
吸盤を取り付ける前に洗面器のホコリや水滴をよく拭き取ってください。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力が弱くなります。

注意

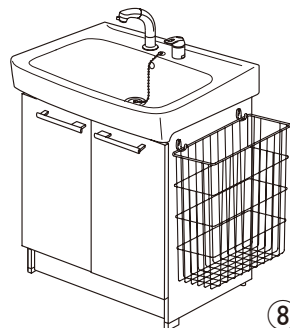
シャワースクリーンに直接水をかけない。
※水がこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※シャワースクリーンは、洗面器周辺への水はねを抑えるためのものです。洗面器から水があふれるのを防ぐこと はできません。

取り付ける

①シャワースクリーンに吸盤と取付部材を取り付けます。
②洗面器の端に吸盤を押し付けて、シャワースクリーンを取り付けます。

取り外す

洗面器から取り外します。

サイドバスケット（BB-TD1-23）の使い方

フックにサイドバスケットの上縁を引っ掛けます。

お願い
サイドバスケットは許容積載量を守って使用してください。
※バスケットやフックが破損する場合があります。
※許容積載量　5Kg以下

お掃除方法

お願い

●お手入れの際、次のものは使用しないでください。

- **粉末クレンザー、磨き粉など研磨力の強いもの**
- **硬いスポンジ（金属タワシ、ナイロンタワシなど）**
- **毛先の硬いブラシ**

  ※表面にキズがつく恐れがあります。
- **シンナーなどの有機溶剤や薬品、除光液、オレンジオイル配合の洗剤**

  ※樹脂（プラスチック）表面にヒビ割れや変形が発生する場合があります。
- **酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤**

  ※表面が変色したり、シミになる恐れがあります。

●お手入れに使う布はやわらかいキレイなものを使用してください。

※古い固くなった布やトイレットペーパーを使うとキズがつく場合があります。

水栓金具

毎日のお手入れ

やわらかいきれいな布で水ぶきします。

週1回のお手入れ

浴室用中性洗剤をぬらしたスポンジか布に
2～3回吹き付けて汚れを落とします。

お願い

ナイロンたわしやブラシ、メラミンスポンジは使用しないでください。

※水栓金具の表面にキズがついたり、印字部分（湯水・流量調節の表示）が消える恐れがあります。

洗面器

毎日のお手入れ

40℃くらいのお湯をかけてスポンジでこすります。

週1回のお手入れ

浴室用中性洗剤を洗面器内に吹き付け、2～3分おいてからスポンジでこすります。

月1回のお手入れ

- 浴室用クリームクレンザーを付けたスポンジか布で汚れを落とし、洗い流します。
- 排水口を歯ブラシでこすります。

ワンポイント

落ちにくいガンコな汚れやもらいサビは、浴室用クリームクレンザーを布につけて、4～5回こすっては水洗いをくり返して落とします。

※強くこすらず、クレンザーをつぎ足しながら少しずつ落とすのがコツです。

※こすりすぎると表面にキズが付いたり、ツヤが出すぎて変色する場合があります。確認しながら使用してください。

キャビネット・扉

週1回のお手入れ

キャビネット表面を水ぶき、または住宅用洗剤を布につけて拭きます。

月1回のお手入れ

収納内部を水ぶき、または住宅用洗剤を布につけて拭きます。

お願い

●木製部分はぬれたまま放置しないでください。

※ぬれたらすぐに拭き取ってください。

※木質でできていますので水を含んでふくらんだり、表面材がはがれたりする原因となります。

●表面にツヤのある扉のお手入れ

表面にツヤ（光沢）のある扉は、洗剤を付けたやわらかい布で軽く叩くようにして汚れを吸い取ってください。

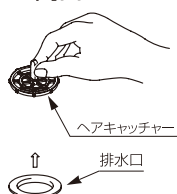
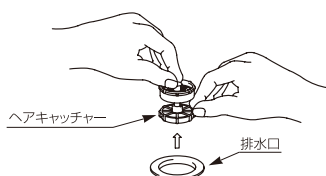
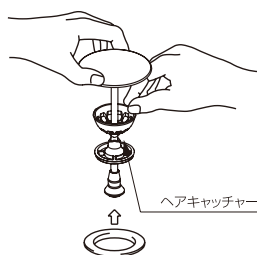
※強くこすると、細かいキズがつく恐れがあります。

●隙間のお掃除

洗面器とサイドベースキャビネット、ミラーキャビネットなどの隙間には、水アカや汚れがたまりやすいので、綿棒ややわらかい毛の歯ブラシで汚れをかき出してお掃除してください。

排水口（ヘアキャッチャー）

■ゴム栓式の場合

間口500

間口600・750

■プッシュワンウェイ式の場合

毎日のお手入れ

ヘアキャッチャーのゴミ、髪の毛を取り除き、水洗いをします。

週1回のお手入れ

浴室用洗剤をつけた歯ブラシで排水口や排水栓のヌメリを落とします。

ワンポイント

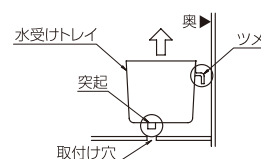
プッシュワンウェイ式でヘアーキャッチャーと軸の間に砂などがかむと、排水栓が上がらなくなることがあります。そのときは、排水栓に布粘着テープを貼ったまま持ち上げて外してください。

ご使用方法

水受けトレイ（シャワー水栓のみ）

お手入れの前に収納物を取り出し、引出しも取り外してください。

月1回のお手入れ

水受けトレイを上に持ち上げて取り外し、布で中の水気を拭き取ります。
水受けトレイのツメを奥に向け、トレイ裏の突起を取付け穴に合わせて置きます。
最後に、ホースを水受けトレイに収めてください。

排水トラップ

お手入れの前に収納物を取り出し、引出しも取り外してください。

月1回のお手入れ　排水パイプ洗浄剤で掃除します。

年1回のお手入れ　掃除口にたまったゴミを取り除きます。

①掃除口の下に水を受ける容器を置き、掃除口または締付ナットを手で回して取り外します。

②掃除口内やU管内のヌメリやゴミを取り除きます。

③掃除口を元通りに取り付け、水を流して水が漏れていないことを確認します。

⚠ 注意

- **ナット類は手でしっかりと締め付けてください。**
  ※締付けが不十分だと漏水する恐れがあります。
- **掃除口やU字口以外の締付ナットに触れたり、外したりしないでください。**
- **パッキン、ワッシャーにキズや変形が見られる場合は、必ず交換してください。**
  ※漏水の恐れがあります。

ワンポイント

排水トラップは、配管の途中に水（封水）をためて、下水から悪臭や害虫が室内に侵入するのを防ぎます。排水トラップのお手入れ終了後は各部を確実に取り付け、必ず10〜20秒水を流して、封水をためてください。

長くお使いいただくために

シャワーや吐水口からの流量が少なくなったと感じたら

流量の調節

流量の調節は止水栓を操作して行ってください。

① 水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）を手回しマイナスドライバーで回して適量に調節します。

② 水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの流量と同じになるよう、水側止水栓（向かって右）を手回しマイナスドライバーで回して調節します。

③ 水栓金具のレバーハンドルを中央（湯と水の中間）の位置で吐出し、水はねを確認します。

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。

お願い

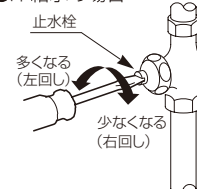
メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すときに必要です。
※元の位置に戻さないと設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる場合があります。

●壁給水の場合

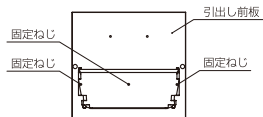
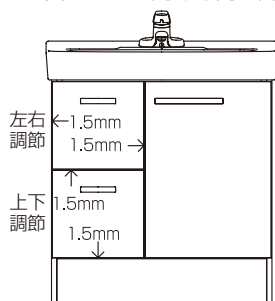
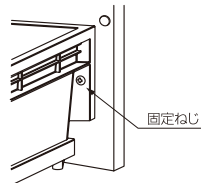
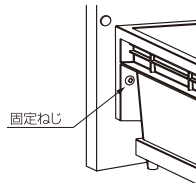
●床給水の場合

※上記はドライバー式の止水栓の例です。

ワンポイント

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/minを超えた場合は、止水栓で流量を調節してください。
※8L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約25秒です。
※立水栓（LF-1(95)-RU-MB3）の場合は定流量弁が取り付けられているため、一定の流量（5L／分）以上は吐水しません。

引出しの調節

固定ねじの調節方向と調節量

固定ねじ　固定ねじ

①引出しを取り外します。
②図の位置にある左右中央の
　固定ねじを手回しプラスドライバーでゆるめます。
③引出し前板を少しずつ動かして調節します。
④手回しプラスドライバーで固定ねじを締め付けます。
⑤引出しを取り付けます。
⑥正しい位置になるまで繰り返します。

⚠ 注意

調節後は、必ず固定ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※固定ねじがゆるんでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

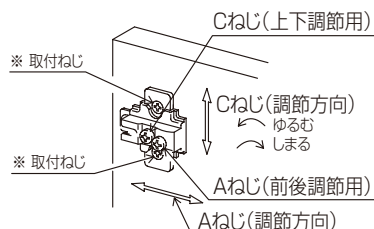
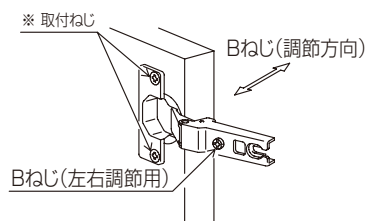
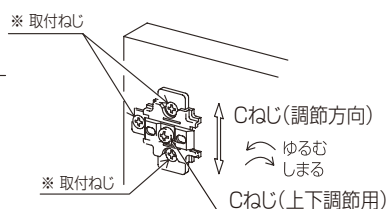
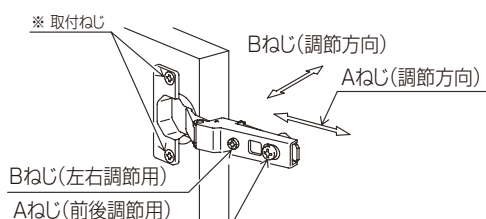
扉の開閉がスムーズでないと感じたら

扉の水平･垂直が正確に出ていないと､スムーズに開閉しないことがあります。
扉がずれている場合は蝶番(ヒンジ)を手回しプラスドライバーで調節してください。

扉の調節

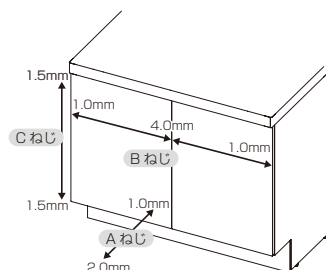
A､B､Cの各調節ねじは扉を取り付けたまま手回しプラスドライバーで調節可能です。
※下記イラストは扉を外した状態です。

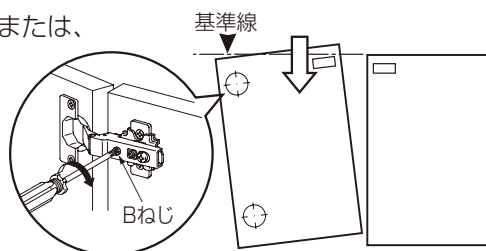
■洗面化粧台（ねじ固定式）の場合

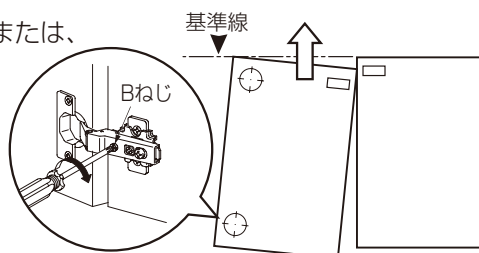
※取付ねじは絶対にゆるめないでください。

■ミドルキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合

⚠ 注意

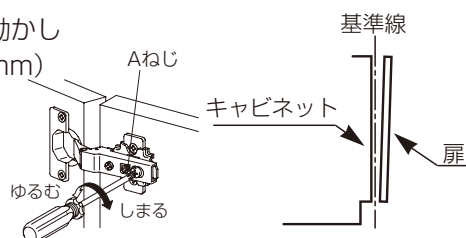
●調節ねじA・B・C以外のねじをゆるめたり外したりしない。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。
●調節後は、必ずAねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

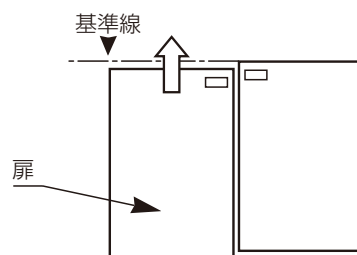
各ねじの調節方向と調節量

ねじ	調節方向と調節量
Aねじ（前後調節）	ねじを軽くゆるめて、扉を前後に少しずつ動かして調節します。 前へ2mm、後へ1mm
Bねじ（左右調節）	右へ回す→内側へ4mm 左へ回す→外側へ1mm
Cねじ（上下調節）	ねじを軽くゆるめて、扉を上下に少しずつ動かして調節します。 上へ1.5mm、下へ1.5mm

扉の先端が上がっているとき

① 扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
② 扉を閉めて位置を確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

扉の先端が下がっているとき

① 扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
② 扉を閉めて位置を確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

扉と側板の隙間が上下異なるとき

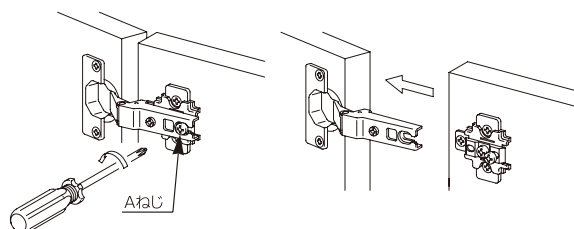
① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。（基準値：隙間2mm）
② 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

扉の位置が上下異なるとき

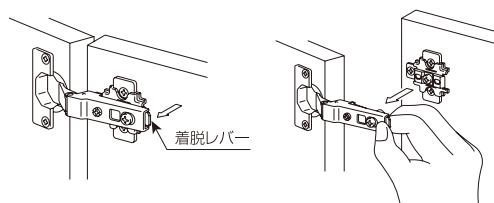
① 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
② 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。

ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
● 2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。

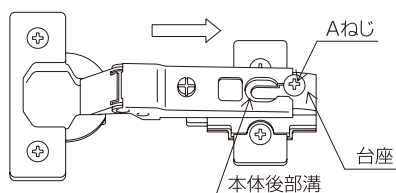
扉の取外し

■ねじ固定式の場合

①Aねじをドライバーでゆるめた後、
扉を矢印の向きに引っ張って取り外します。

■ワンタッチ式の場合

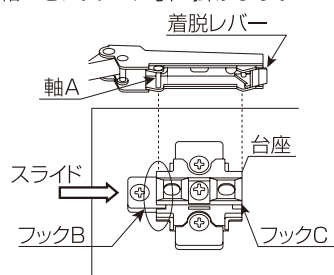
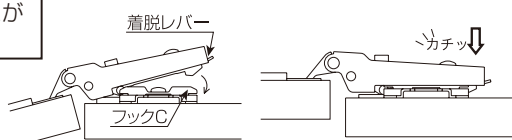
①蝶番の着脱レバーを手前に引き、
蝶番を矢印の向きに引っ張って取り外します。

扉の取付け

■ねじ固定式の場合

本体後部溝をAねじに差し込み
Aねじを締め付けます。

⚠ 注意

扉の取付後は蝶番が台座へしっかりははまっていることを確認してください。
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

■ワンタッチ式の場合

① 扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸AをフックBに引っ掛けます。

②蝶番の着脱レバーをフックCに合わせ、
蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。

プッシュ扉が開閉しにくいと感じたら

扉と本体の 隙間が適切でないと、扉を開閉しにくいことがあります。
プッシュラッチの出を調節して隙間を調節してください。

① 扉と本体の 隙間を確認して、プッシュラッチを調節します。
（基準値：隙間2mm）

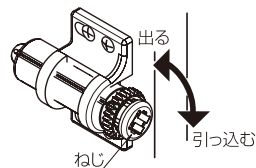
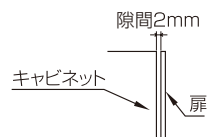
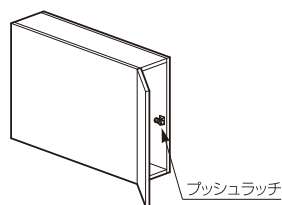
扉が閉まらない（反発して開く）

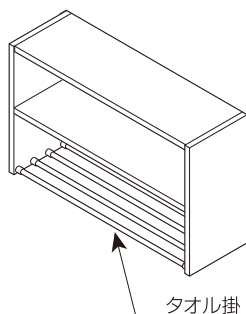
プッシュラッチのねじを右に回し、隙間を小さくします。

扉を押しても開かない

プッシュラッチのねじを左に回し、隙間を大きくします。

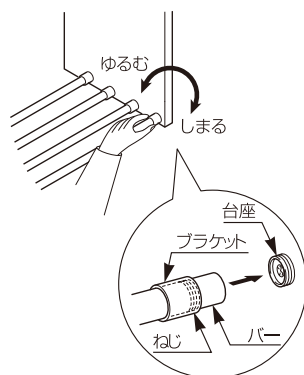
② 扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

長くお使いいただくために

タオル掛がゆるんできたら

● ランドリーキャビネット

タオル掛がゆるんできたら

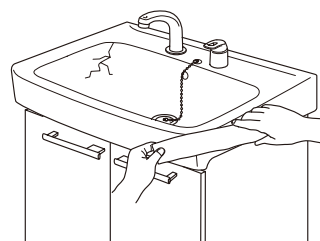
ブラケットは、ねじ構造となっています。
ブラケットを右に回して締めなおしてください。

タオル掛が外れたら

① バーにブラケットを通します。
② バーの片側を台座に合わせて、ブラケットを右に回してゆるめに仮付けします。
③ バーの反対側も②と同様に取り付けます。
④ 左右のブラケットを締めなおしてしっかり固定します。

陶器製洗面器がヒビ割れしたら

重いものや、固いものが洗面器に落ちるとキズやヒビ割れの原因になりますので、ご注意ください。
万が一ヒビが入ったら応急処置後、早めに修理を依頼してください。

ヒビ割れの応急処置

①ヒビの部分に布粘着テープを貼り付けて補修します。
②すぐに洗面器交換を依頼します。

⚠ 注意

洗面器にヒビが入ったり、割れたりしたときは使用を中止し、洗面器の交換を依頼してください。
※放置するとケガをする恐れがあります。
※修理のご依頼は、18ページ「修理を依頼されるとき」をご覧ください。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓金具の水抜き

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、次の対策を実施してください。
●水栓金具が一般地仕様の場合…水栓金具から少量の水を出したままにしてください。
●水栓金具が寒冷地仕様の場合…建築側配管の水抜き操作後に、水栓金具のハンドルを全開にして水抜き操作を行ってください。
詳細な操作については水栓金具の取扱説明書をご確認ください。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■キャビネット

Q	A		参照ページ
扉がガタついている	蝶番がゆるんでいる	蝶番のA、Bねじを増締めします。増締めした後、扉がずれていたら、調節します	P12
扉の先端が下がっている		扉のズレを調節します	P13
扉の先端が上がっている			
扉本体の隙間が上下で異なっている			
扉の位置が上下異なる			
150サイズアッパーキャビネットの扉の開閉が滑らかでない	プッシュラッチの調節が適切でない	プッシュラッチの調節をします	P14
ランドリーキャビネットのタオル掛がゆるんできた	タオル掛のブラケットがゆるんでいる	ブラケットを固定しなおします	P15

■水栓金具

Q	A		参照ページ
流量が少ない(水の勢いが弱い)	止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P11
	ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーの掃除をします(水栓金具の取扱説明書をご確認ください)	
	給湯機器の能力切替が低めに設定されている(給湯の能力が不足している)	給湯機器の能力を高く設定します(給湯機器の取扱説明書をご覧ください)	
	浴室などで湯を使っている	他の場所で同時に湯を使わないようにします	
流量が多い(水の勢いが強い、水はねが多い)	止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P11
希望の温度が得られない(または、温度が変動する)	季節の環境、外気が影響している	故障ではありません	
水が止まらない	パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください	P17·18
水を止めた後に、少しの間水が垂れる	構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	故障ではありません	

■排水口

Q	A		参照ページ
水がたまらない	排水栓の変形、パッキンの傷み	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください	P17·18
オーバーフロー穴を越えて洗面器から水があふれる	止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P11
排水しない、あるいは排水がスムーズでない	排水口が詰まっている	排水口を掃除します	P10
	排水トラップが詰まっている	排水トラップを掃除します	P10

■排水トラップ

Q	A		参照ページ
漏水する	排水トラップの接続がしっかり締め付けられていない	掃除口をしっかり締めます	P10
	排水トラップのパッキンの傷み・変形	アフターサービスのページをご確認のうえ、ご連絡ください	P17·18

■洗面器

Q	A		参照ページ
陶器製洗面器がヒビ割れた	重いもの固いものが落ちた	応急処置として補修した後、修理を依頼してください	P15·18

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら16ページ「故障かな?と思ったら」を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
取扱説明書どおりにご使用されても、まだご不明な点がある場合は、当社お客さま相談センターにご相談ください。

改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。

保証書をご覧ください

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。

●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
●水栓金具や排水トラップの止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは
お買い求めの取扱店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番←1ページ「品番を調べる」参照
●取付年月日(保証書に表示)
●故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)←16ページ「故障かな？と思ったら」参照
●ご訪問希望日
※お客さまからご連絡いただく氏名や住所などの個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、またはLIXIL修理受付センターに連絡してください。

●お求めの取扱店（保証書に表示）修理のご依頼・ご相談を受付いたします。

●LIXIL修理受付センター

TEL **0120-179-411**
受付時間　9：00～20：00（365日受付）
FAX **0120-179-456**
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願います。
※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

■化粧台本体の品番一覧

間口		600·750				
品番	扉タイプ	FTVN-753(N) FTVN-603(N)	FTVN-750(N) FTVN-600(N)	FTVN-754(N) FTVN-604(N)	FTVN-755SY(N)1 FTVN-605SY(N)1	FTVN-755SY(N)1-W FTVN-605SY(N)1-W
	引出しタイプ	−	−	FTVH-754(N)	FTVH-755SY(N)1	FTVH-755SY(N)1-W
サイズ(mm) (幅X奥行きX高さ)		600サイズ:600×500×850　750サイズ:750×500×850				
水栓金具		立水栓	2ハンドル 混合水栓	シングルレバー 混合水栓	シングルレバー 洗髪シャワー水栓(エコハンドル仕様)	
排水器具		ゴム栓式排水栓(ヘアーキャッチャー付)				プッシュワンウェイ式排水栓 (ヘアーキャッチャー付)
洗面器(カラー)		陶器製　600サイズ:11L　750サイズ:15L (BW1:ホワイト、LR8:ピンク)				
本体		木製(パーティクルボード、合板)				
扉カラー		VP1:ホワイト		LP2:クリエペール　HP2:パステルピンク HD2:ディープグレー　VP1:ホワイト		
付属品		排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 鎖付きゴム栓 取っ手セット	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 取っ手セット	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 取っ手セット	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 鎖付きゴム栓 水受けトレイ 取っ手セット	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 水受けトレイ 取っ手セット

間口		500		
品番	扉タイプ	FTVN-503(N)	FTVN-500(N)	FTVN-504(N)
サイズ(mm) (幅X奥行きX高さ)		500×400×850		
水栓金具		立水栓	2ハンドル 混合水栓	シングルレバー 混合水栓
排水器具		ゴム栓式排水栓(ヘアーキャッチャー付)		
洗面器(カラー)		陶器製　6L (BW1:ホワイト、LR8:ピンク)		
本体		木製(パーティクルボード、合板)		
扉カラー		VP1:ホワイト		
付属品		排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 鎖付きゴム栓 取っ手セット	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 取っ手セット	排水トラップ 排水アダプター 排水プレート 取っ手セット

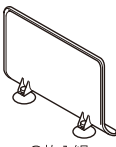
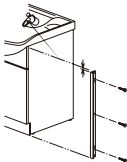
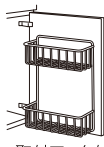
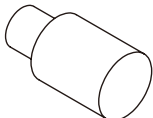
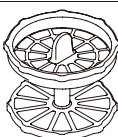
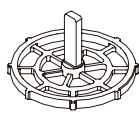
■化粧台本体の品番の見方

品番　／色番

FTV N- 60 5SY N −W／VP1 W

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①FTV ········シリーズ名　オフト
②N ···········扉タイプ
　H ···········引出しタイプ
③50 ··········間口500mm
　60 ··········間口600mm
　75 ··········間口750mm
④0 ···········2ハンドル混合水栓
　3 ···········立水栓
　4 ···········シングルレバー混合水栓
　5SY ········シングルレバー洗髪シャワー水栓(エコハンドル)
⑤なし ·········一般地仕様
　N ·········寒冷地仕様
⑥なし ·········ゴム栓式排水栓
　W ·········プッシュワンウェイ式排水栓

⑦LP2 ·······扉色　クリエペール
　HP2 ·······扉色　パステルピンク
　HD2 ·······扉色　ディープグレー
　VP1 ·······扉色　ホワイト
⑧W··········洗面器色　ホワイト
　P ··········洗面器色　ピンク

■その他のキャビネット

品名	サイドベースキャビネット		
品番	FTVB-154H	FTVB-254H	FTVB-304H
サイズ(mm) (幅X奥行きX高さ)	170×450×720	270×450×720	320×450×720
本体	木製(パーティクルボード、合板)		
扉カラー	LP2:クリエペール　HP2:パステルピンク HD2:ディープグレー　VP1:ホワイト		
付属品	取っ手セット(2個)		

品名	ミドルキャビネット			ランドリーキャビネット
品番	FTVK-153	FTVK-252	FTVK-302	LCVKO-652
サイズ(mm) (幅X奥行きX高さ)	150×300×620	250×225×620	300×225×620	650×225×400
本体	木製(パーティクルボード、合板)			
扉カラー	LP2:クリエペール　HP2:パステルピンク HD2:ディープグレー　VP1:ホワイト			−
付属品	落下防止バー(2本)	取っ手セット(1個) 棚板(1枚)	取っ手セット(1個) 棚板(1枚)	タオル掛(4個)

品名	アッパーキャビネット					
品番	FTVU-154CL(R)	FTVU-254L(R)	FTVU-304L(R)	FTVU-604	FTVU-654	FTVU-754
サイズ(mm) (幅X奥行きX高さ)	150×445×400	250×445×400	300×445×400	600×445×400	650×445×400	750×445×400
本体	木製(パーティクルボード、合板)					
扉カラー	LP2:クリエペール　HP2:パステルピンク HD2:ディープグレー　VP1:ホワイト					
付属品	−	取っ手セット(1個)		取っ手セット(2個)		

■オプション品・交換部品

品　名	サイドバスケット	シャワースクリーン	フィラー	扉用バスケット
品　番	BB-TD1-23	BB-FTV2N	BB-TDF	BB-EX5
主な材質	鉄線PE粉体塗装	ハイインパクト スチロール樹脂	オレフィン系PP	鉄線PE粉体塗装
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	250×425×555	400×66×202	20×50×750	200×100×300
外　観	取付フック付	2枚1組		取付フック付
価　格	¥4,700	¥5,800	¥1,600	¥1,500

品　名	棚ダボ（4個入り）	ヘアキャッチャー	ヘアキャッチャー	ヘアキャチャー
品　番	BTD-1	LF-DCX-HC	LF-FTV4GA-1	LF-FTV4GB-1
主な材質	真鍮	—	POM	POM
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	6×16	67×125	37×37×30	28×28×15
外　観		プッシュワンウェイ式の場合	間口600･750 ゴム栓式の場合	間口500 ゴム栓式の場合
価　格	¥120	¥2,800	¥200	¥200

※表示価格は2015年2月現在の価格です。（税別）
※仕様･価格は予告なく変更する場合があります。

オプション品・交換部品の購入方法

オプション品・交換部品の名称と品番をご指定ください。
オプション品・交換部品の名称と品番が不明のときは、当社お客さま相談センターにおたずねください。

取扱店などで購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の取扱店で お求めください。	LIXILパーツショップ水まわり部品販売の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） **0120-126-015** 受付時間9:00～17:00 （土･日･祝日、夏期･年末年始の休みは除く）

廃棄について

洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

<table>
<tr><td colspan="3">品名または品番：洗面化粧台　オフト</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間
取付日より　2ヶ年</td><td>取付日
年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客さま</td><td>おなまえ</td><td rowspan="3">取扱店名

TEL　（　　）　ー</td></tr>
<tr><td>おところ　無効</td></tr>
<tr><td>おでんわ
（　　）　ー</td></tr>
</table>

お客さまへ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
　(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
　(2) 取付説明書などに基づかない取付けに起因する不具合
　(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
　(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
　(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
　(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆など)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
　(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
　(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
　(9) 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
　(10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
　(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
　(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
　(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
　(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
　(15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
　(16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
　(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
　(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00〜18:00
土日・祝日　9:00〜17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの取扱店または
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間 9：00〜20：00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネットホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

袋:PE

GMB-0437(15020)